



2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月14日

上場会社名 タケダ機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6150 URL <https://www.takeda-mc.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹田 雄一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)鈴木 修平 (TEL) (0761)58-8231
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績(2020年6月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	1,534	△45.5	19	△94.1	66	△80.3	47	△78.4
2020年5月期第2四半期	2,815	△7.4	335	△23.2	338	△24.6	218	△31.2

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 51百万円(△78.1%) 2020年5月期第2四半期 232百万円(△24.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	51.51	—
2020年5月期第2四半期	237.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	6,188	4,006	64.8
2020年5月期	6,447	4,029	62.5

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 4,006百万円 2020年5月期 4,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,300	△34.7	35	△93.4	100	△81.6	65	△81.5	70.67	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年5月期2Q	1,020,000株	2020年5月期	1,020,000株
2021年5月期2Q	100,252株	2020年5月期	100,192株
2021年5月期2Q	919,782株	2020年5月期2Q	919,938株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって深刻な景気後退に直面しており、官民が一体となって段階的に経済活動を再開させようと模索する中、米中の対立といった地政学的リスクも加わって、企業の生産活動や設備投資は停滞しており、その回復の見通しは依然として不透明なまま推移しております。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に取り組んでまいりましたが、前連結会計年度の第4四半期からの展示会の中止による商機の消失、営業活動の制限、著しい景況の悪化に伴うお客様の機械稼働の低下といった事業環境は改善することなく継続しており、これらの要因は当社グループの操業にも影響を与え、この結果、前年同期の業績と比較して大きく収益が減少しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は1,534百万円(前年同期比45.5%減)、営業利益は19百万円(前年同期比94.1%減)、経常利益は66百万円(前年同期比80.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は47百万円(前年同期比78.4%減)となりました。

品目別売上高につきましては、形鋼加工機は815百万円(前年同期比59.0%減)、丸鋸切断機は197百万円(前年同期比15.2%増)、金型は169百万円(前年同期比20.4%減)、受託事業・その他は93百万円(前年同期比33.6%減)、部品は216百万円(前年同期比16.1%減)、サービスは43百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

なお、当社グループの事業は金属加工機械事業(注)の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を工作機械関連事業から金属加工機械事業に変更しておりますが、業績に与える影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は6,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円減少となりました。

これは、主にたな卸資産が196百万円増加したこと、また受取手形及び売掛金が408百万円、固定資産が49百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は2,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円減少となりました。

これは、主に短期借入金が250百万円増加したこと、また長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が189百万円、支払手形及び買掛金が117百万円、賞与引当金が39百万円、未払法人税等が33百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少となりました。

これは、主に利益剰余金が26百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の通期連結業績予想は、2020年7月14日付「2020年5月期 決算短信」にて公表しました業績予想を修正しております。詳細は、本日(2021年1月14日)発表の「2021年5月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083,643	1,092,590
受取手形及び売掛金	1,110,405	701,733
製品	1,029,071	1,279,553
仕掛品	283,373	240,895
原材料	438,426	426,902
その他	29,049	23,120
流動資産合計	3,973,970	3,764,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	581,137	566,138
土地	967,629	967,629
その他(純額)	412,455	368,422
有形固定資産合計	1,961,222	1,902,190
無形固定資産	192,056	184,598
投資その他の資産		
繰延税金資産	60,299	46,422
その他	262,881	293,480
貸倒引当金	△3,140	△3,140
投資その他の資産合計	320,040	336,763
固定資産合計	2,473,319	2,423,552
資産合計	6,447,290	6,188,349
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	421,420	303,893
短期借入金	350,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	354,640	280,439
未払法人税等	57,975	24,378
賞与引当金	112,655	72,665
役員賞与引当金	27,450	3,125
製品保証引当金	2,880	3,087
その他	276,289	228,583
流動負債合計	1,603,310	1,516,171
固定負債		
長期借入金	544,462	429,183
役員退職慰労引当金	54,387	59,337
その他	215,512	176,691
固定負債合計	814,361	665,212
負債合計	2,417,672	2,181,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,874,083	1,874,083
資本剰余金	44,103	44,103
利益剰余金	2,292,572	2,266,366
自己株式	△168,546	△168,692
株主資本合計	4,042,213	4,015,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,594	△8,895
その他の包括利益累計額合計	△12,594	△8,895
純資産合計	4,029,618	4,006,965
負債純資産合計	6,447,290	6,188,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年11月30日)
売上高	2,815,993	1,534,917
売上原価	1,984,819	1,108,279
売上総利益	831,173	426,637
販売費及び一般管理費	496,022	406,712
営業利益	335,151	19,925
営業外収益		
受取利息	132	58
受取配当金	1,946	1,651
仕入割引	15,528	8,961
助成金収入	310	37,478
その他	5,993	13,072
営業外収益合計	23,910	61,222
営業外費用		
支払利息	7,354	6,280
売上割引	13,034	7,666
その他	390	603
営業外費用合計	20,780	14,549
経常利益	338,281	66,597
特別利益		
固定資産売却益	—	3,311
投資有価証券売却益	—	5,698
特別利益合計	—	9,010
特別損失		
投資有価証券評価損	9,813	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	9,813	0
税金等調整前四半期純利益	328,468	75,607
法人税、住民税及び事業税	106,931	16,772
法人税等調整額	2,607	11,456
法人税等合計	109,538	28,229
四半期純利益	218,929	47,378
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,929	47,378

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	218,929	47,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,018	3,699
その他の包括利益合計	14,018	3,699
四半期包括利益	232,948	51,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,948	51,078

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書「第5 経理の状況、1 連結財務諸表等、(1) 連結財務諸表、注記事項 (追加情報)」に記載した内容を変更しております。

当社グループ(当社及び連結子会社)は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りを行うに当たり、当該感染症の影響が及ぼす期間の仮定について、当連結会計年度の年内に当該感染症の影響が収束し、年明け以降は徐々に業績が回復に向かうとしておりましたが、想定以上に長引いている現状を踏まえ、翌連結会計年度まで業績に与える悪影響は徐々に縮小しながらも継続しつつ、翌々連結会計年度以降は緩やかに回復するものと見直し、会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性等)を会計処理に反映しております。

なお、当該感染症が及ぼす影響については、将来における不確実性が高く、これが長期化した場合は、現在の見積り及び仮定と大きく異なる可能性があります。